

オンサイト利用サービスについて

○オンサイトとは？

オンサイトとは、情報セキュリティが確保された環境で、許可を受けた研究者がマイクロデータ※を用いて、独自の集計・分析を行うことができる専用室です。

オンサイト施設一覧（2019年7月1日 現在）

【大学・研究機関】（9施設）

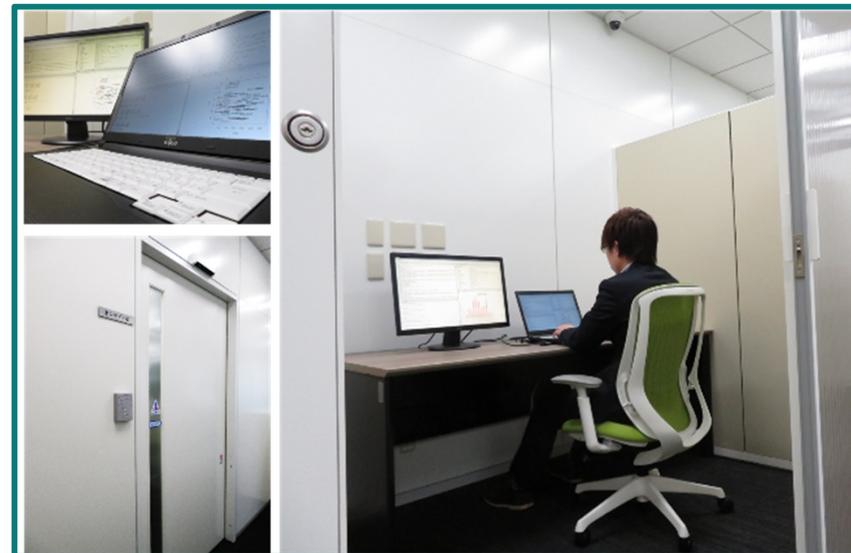
一橋大学、神戸大学、滋賀大学、多摩大学、群馬大学、新潟大学、
情報・システム研究機構、京都大学、大阪大学

【行政機関】（3施設）

統計データ利活用センター〔和歌山〕、総務省第2庁舎、
合同庁舎第2号館

※マイクロデータ

調査対象の秘密の保護を図った上で、世帯単位や事業所単位といった集計する前の個票形式のデータ



入退室管理や監視カメラを備えたオンサイト室

○オンサイトでできること

- ・オンサイト内に設置されたPCを用いて、利用申出を行った公的統計のマイクロデータを使った研究分析を行うことができます。
- ・研究者が用意したデータやプログラムも利用することができます。



探索的・創造的研究が可能に

- ・分析した結果については、セキュリティ保護の観点等から、所定の審査を経た上で提供を受け、利用することができます。

○利用できる方・条件

- ・行政機関が行う統計の作成等と同等の公益性を有する場合
例えば、行政機関からの委託研究や行政機関との共同研究、行政機関からの公募による補助（科研費等）を受けて行う研究などが該当します。
- ・上記以外にも、令和元年5月1日より改正統計法が施行され、情報保護（オンサイト利用等）を前提として、マイクロデータの学術研究等の利用が可能となりました。
例えば、大学等、公益社団法人又は公益財団法人（公益目的事業に限る）が行う研究、大学等に所属する教員が行う研究などが該当します。（この目的で利用する場合は有料となります。）

(参考)オンサイト施設について

【調査票情報のオンサイト利用 (イメージ)】

- 「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成30年3月6日閣議決定)等に基づき、探索的・創造的な研究と個人や企業の情報保護の両立が可能な「調査票情報のオンサイト利用」の枠組みを整備
- オンサイト施設は、データの持ち出しができない仕組みや作業内容の監視システム等を備え、調査票情報の利用者は、オンサイト施設内限りで調査票情報を利活用
- 現在、オンサイト施設及び利用可能な統計調査の拡充に向けて、関係府省、関係機関等と順次調整

オンサイト利用のイメージ例

